

議会だより

第120号

平成26年  
2月10日発行

# 東くら

発行 鹿兒島県東串良町議会  
編集 議会広報編集委員会  
電話 0994-63-3132(直通)



簡易水道使用料消費税増税等により値上げ……………	2
住宅リフォームへの助成制度はできないか等……………	4
生活研究グループ代表と議長の対談……………	10
教育環境の整備充実の調査等……………	11

# 料金アップ

平成 25 年第 4 回定例会は、12 月 10 日から 20 日までの 11 日間の会期で開きました。

今定例会では、条例改正等 3 件、補正予算 5 件、同意 3 件等を審議しました。

また、一般質問には 8 名の議員が登壇し、執行部に質問を行いました。

## 水道料金値上げ

■東串良町簡易水道事業給水  
条例の一部改正

賛成 8、反対 1 で原案可決

(提案理由)

①消費税法改正によるもの。  
(5% ↓ 8%)

②水道施設の老朽化や地震対策等のため施設の整備や更新等を実施していくにあたり、これまでの水道料金では安全で安定した事業経営の継続に支障がでるため。

この条例改正により、平成 26 年 5 ～ 6 月使用分（支払月で言い換えれば 7 月分）から値上げになります。

一般家庭の 2 ヶ月分の平均使用量 43 m<sup>3</sup> で水道使用料金を比較すると、

改正前：3,210 円

改正後：4,070 円

∴この例えでは、860 円の値上げとなります。

### 賛成討論

堂地 富男 議員

東串良町簡易水道事業は、地下 60 m から 100 m にある非常に良質な地下水をくみ上げ、各家庭に安定的に供給している。

しかし、今後施設の老朽化や耐震等を考えた場合、この施設や水道本管の改修などを計画的に実施していかなければならない状況で、相当な事業費もかかると思う。安心・安全な水を住民に供給し、独立採算制を基本とする安定的な事業運営をしていくとなると、今回の値上げは必要だと思う。

また、値上げした料金と、近隣の一番高いところの料金と比較しても 2 分の 1 である。近隣市町村では一番安い料金である。このような理由で、今回の水道料金改定に賛成する。

### 反対討論

宮地 利雄 議員

この条例改正は、町民の水道料金を平均 20% 引き上げる内容となっている。町民の負担増であり、その中に消費税の 8% への引き上げ分が含まれている。消費税は低所得者ほど負担が重く、幾ら税率を上げても景気が冷え込み、所得税や住民税、法人税が消費税の増税分を上回って落ち込み、結果として国の税収は大きく後退してきた。3% から 5% へ引き上げた 1997 年以降の国の財政を見れば明らかである。

本町の水道会計が独立できていないこと、上水道への移行との関係、値上げしてもなお他市町村よりも低い水準であることなどの理解はしている。しかし、本町の会計に 8% への消費税増税が最初に登場した議案であり、消費税増税に一貫して反対してきた立場から、今回の改正には反対する。

## 一般家庭の 2 ヶ月分の平均使用量 43 m<sup>3</sup> で 水道使用料金を比較



※ 東串良町のは、今回の改定により値上げになった金額に、消費税 8% を含んでいます。他市町のは、H25. 12 月現在で算出した金額に、消費税 5% を含んでいます。

# 12月議会

# 安定的な供給のため水道



## 平成 25 年度補正予算 (単位:千円以下切り捨て)

会計名	補正額	補正後の総額	歳出の主なもの
一般会計	+1億515万円	41億5912万円	・介護基盤緊急整備等補助金の増 ・自立支援サービス費の増 ・保育園運営費負担金の増 ・中学校グラウンド整備設計委託料の増 ・総合センター入口のポーチ及び身障者用トイレの修繕料の増
国民健康保険特別会計	+195万円	11億4955万円	・療養給付費の増 ・高額療養費の増
介護保険事業(保険事業勘定)特別会計	+522万円	9億951万円	・居宅介護サービス等給付費の増 ・施設介護サービス等給付費の減
介護保険事業(サービス事業勘定)特別会計	-42万円	592万円	・新予防給付ケアプラン作成委託料の減
後期高齢者医療特別会計	-78万円	8333万円	・後期高齢者医療広域連合納付金の減

### 補正予算を全会一致で原案可決

12月議会での各会計の補正予算は次のとおりです。  
 なお、国からの臨時収入(通称)元気交付金(4790万円)は、ほ場整備事業の町負担分に充てられます。

### 教育委員の任命

福中泰子氏(池之原2847番地)並びに宮脇みよ子氏(川西1516番地1)の任期満了に伴う、再任命の提案があり同意しました。



福中 泰子 氏



宮脇 みよ子 氏

### 陳情

川内原発の拙速な再稼働に反対する意見書の採択について

#### 陳情者

小蓬原昭雄(新川西4995番地11)

\*この陳情は総務民生常任委員会に付託し、閉会中の継続審査としました。

# 一般質問

8 議員が登壇

# 町政を問う

※ 内容は要約してあります。詳細は会議録(設置案内 P. 6に掲載)をご覧ください。

**Q** 来年度予算に議会の指摘事項は反映されるか  
**A** 予算編成方針で各課に指示している



宮地 利雄 議員

**宮地** 来年度予算を編成する日程はどうなっているか。

**町長** 来年度の当初予算編成については、12月5日付で各課に配付している。予算の要求資料の提出は1月10日まで。予算査定は1月20日からはじめ、町長査定は1月27日をめどにし、1月30日には予算書はできる。予算書の調製は2月14日ごろまでに終わるスケジュールで検討している。

**宮地** 議会の決算審査特別委員会が、9月議会の会期中に審査を終了するように議会側が措置した。これは、議会による前年度決算の指摘事項が来年度の予算編成に反映される必要がある、ということからである。議会が指摘した内容が27項目ほどあるが、これがどの段階でどのように扱

われることになるか。

**町長** 決算委員会での指摘事項についても当然頭に入れて指示をしている。各課等で、特に方針の中で指摘事項を含めての指示をしている。

**宮地** 1月10日までに各課あての文書の中で、議会からの決算委員会の指摘、内容についても検討の上というような、文言が入っているか。  
**町長** 網羅した形で指摘事項に入っている。

**Q** 住宅リフォームへの助成事業をやるべきでないか  
**A** アンケートで要望の有無を調査し検討する

**宮地** 住宅リフォームへの助成制度が全国で広がっている。この制度は町民が町内の業者と契約をして、住宅の改

修を行う場合、その総工事費の一定割合を上限を定めて市町村が補助をする制度である。この制度の特徴は、少ない補助金額でも波及効果が大きいことである。本町でもこういう事業を開始して、公共工事だけではなく、民間の工事もふえていくという方向に踏み切るべきではないか。

**町長** 今後、アンケート等をとってみて、どれぐらい要望があるのか検討していく。  
**Q** 学校備品は本来行政が整備すべきである  
**A** 適切に努めていく



教育環境の整備状況を調査 (柏原小学校)

**宮地** 町の広報誌10月号に柏原小学校のPTAが、扇風機などをPTAの特別会計から寄附したということが掲載されている。教育長はどう感じられたか。  
**教育長** 本町のPTAの方々は学校教育に関心の高い方が多く、感謝と同時に誇りに思ったのが素直な感想である。

**宮地** 扇風機も、渡り廊下のスノコも必要なものであれば、本来、行政が整えるべきものである。教育基本法でも国及び地方自治体の必要な財政上の措置について、明確にうたっている。この記事を見た池小や中学校の父母が、自分たちも何か寄附すべきではないかと考えはしないか、という危惧を持った。今後学校へのPTAとか、あるいは父母からの寄附は本来要らないし、受け付けることも本来できないというのをこの場ではっきりと申し上げられたい。  
**教育長** 学校からの要求等に対し、適切になすよう努めていくと考えている。



H24.5.12に開かれた「野方インターチェンジ建設促進大会」  
 今後は黒石串良線のニーズも高まっていく

**Q** 黒石串良線の拡幅改修を急げ  
**A** 早期実現に向け努力する



前田隆 議員

**前田** 東九州高速自動車道は、平成26年度末には岩川の弥五郎どんのインターから鹿屋串良インターまで開通する運びとのことだが、県道黒石串良線の拡幅改修はどうなっているのか。

**町長** 通称二子塚からグリーンロードまでの間が基本設計されている。その実施は、今、県の財政が厳しいため、いつ実施するかは回答が得られていない。その後、グリーンロードから岩弘の方は実施計画等の基本設計等が始まる。実施は県の予算状況もあり、時期は県が明確に示さない。

**前田** 岩弘の道路は大型自動車が目下何十台と行き来している。交通の不便や危険性もある。また東串良の振興のうえでも、早期に拡幅改修が行われるよう県への働きかけを要請する。

**町長** 機会あるごとに県や国、また地元代議士等へお願いしている。引き続き早期実現の方向で努力する。

**Q** 通学路等に街灯を整備できないか  
**A** 現地を確認をする

**前田** 高松商店から市之坂線にぬける岩弘線は夕方などものすごく暗く危険性がある。児童生徒の通学路でもあるが街灯整備する考えはないか。また、同じく町民運動場から中学校、中学校からにぎやかタウン、にぎやかタウンから雪山を通って溜水に抜ける線についても、街灯整備する考えはないか。

**町長** 公道上の街灯整備は、緊急度の高いところから石油備蓄交付金を充ててLED街灯を年次的に設置している。石油備蓄交付金の活用は県への申請が必要であるので、現地も見ていく。

**前田** 事故があつてからでは遅いので、1日でも早く実現するよう要望する。

**Q** 清掃にシルバー人材センターを活用できないか  
**A** 町職員で対応する

**前田** 町外者から公園のトイレの壁の落書き等について指摘を受けた。調査してみた

ら、トイレはシルバー人材センターが火曜日と金曜日に掃除を行い清掃されていたが、脇の壁が物すごく落書きがしてあった。誰もが気持ちよく利用できるような委託費を増額しての管理運営はできないか。

**町長** 壁の落書き等の問題は検討したい。

**前田** 庁舎内の清掃だが、町長は9月議会で職員がするのが義務だと回答された。汚れがしみ込みとれないような状態が見受けられ、また以前指摘したクモの巣が張っている場所などそのままである。業者やシルバー人材センターにでも委託してきれいにする考えはないか。

**町長** 以前の行革から庁舎の清掃は職員でやっている。指摘されたところを私も見ていないが、確認し担当課に対して指示を行い、きれいな職場にしていきたいと考える。

して指示を行い、きれいな職場にしていきたいと考える。

**前田** 職員は仕事もある。当然に身の回りの清掃は職員がするべきである。しかし庁舎は職員だけのものではなく町民のものである。庁舎がきれいだなあとと言われるよう、シルバー人材センター等への委託を要請する。

**Q** 町長はシルバーの理事長にならないのか  
**A** 答弁は差し控える

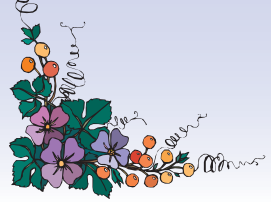
**前田** シルバー人材センターの役員体制であるが、町長はシルバー人材センターの理事、または理事長になる考えはないか。

**町長** 現理事長がいるし、私が理事長になる、ならないとの答弁は差し控える。

**ご意見・ご感想をお寄せください**

議会だよりの感想や、町政、議会への要望など、あなたのご意見やご感想をお待ちしております。

〒893-1693  
 東串良町川西 1543 番地  
 東串良町議会事務局  
 Eメール：  
 gikai@higashikushira.com



## Q 大隅観光連盟をつくれないうか

### A 新たな組織結成は難しい



中野 重雄 議員

**中野** 例えば2市4町で構成する「(仮称)大隅観光連盟」をつくる考えはないか。この

考えは、各市町の意向や協力が必要と考えるが、本町には観光職員もいるし、本町の観光発展のためにどうしても取り組んでほしいがいかがか。

**町長** 現在、大隅総合開発期成会の4市5町を初め、観光協会やNPO法人など民間を含む観光にかかわる団体による「大隅広域観光開発会議」がある。また、日南地区を含めた日南・大隅地区観光連盟協会の二つの組織がつけられている。本町も二つの組織に加わって、大隅一体となった観光振興を図っている。2市4町(鹿屋市、垂水市、南大隅町、錦江町、肝付町、東串良町)で構成する観光連盟の立ち上げは、他市町において

は観光協会も組織されているので、新たな観光の組織結成は難しいと考える。

**中野** 桜島から佐多岬までバスで試行したところ、帰り道も一緒だったというところを新聞で見た。大隅を一体化して観光連盟をつくれればよい観光ルートができるかと考える。

例えば、佐多岬に行つて帰りは神の川を通り、田代に行けば石畳もある。旧内之浦町に行くときロケットがあり、旧高山町には二階堂先生の国重要文化財の家もある。東串良町には有名な古墳群もあるし、鹿屋には平和公園やバラ園もある。今後具体化するよう要望する。



## Q 柏原に空き店舗を活用し販売店はできないか

### A 物産館のような運営は難しい



泊 重巳 議員

**泊** 本町は柏原地域と池之原地域があり、両立した発展が図られて来た。池之原地域は、国道沿いにミネサキ、コスモス、しまむらと大型店舗が進出し、衣類、食料品等の買い物には不自由しない環境である。

しかし、柏原地域は、食料

品を売る店も少なくなり、高齢者は日常の買い物に大変不自由をしている。不自由なところに人は住まなくなる。

現在、柏原小学校は新入生が少なく、今後ますます少なくなる予想されている。池之原小学校は定住促進住宅用地貸付事業のおかげで新入生も多くなっている。便利などころには人は寄ってくるが、不便なところは人が離れていく。

柏原地域はこのままでは少子高齢化がますます進行していく。柏原地域の活性化を図るために、柏原商店街の空き店舗を活用し、物産館のような日常の食料販売店をする考えはないか。

**町長** 商工会ともいろいろ検討するが、物産館のような建物を建てて運営することは難しい状態である。



柏原地域の振興を強く望む

## 会議録の設置

定例会や臨時会の会議録は、次の町内4箇所を設置しています。

- ☆役場1階ロビー本棚
  - ☆福祉センター
  - ☆総合センター
  - ☆環境改善センター
- ・・・是非、ご覧ください。



**泊** 同じ町内に住んでい

る方が公平で不便がないように、豊栄ひつとべ会、商工会、柏原まちづくり推進委員会と連携を図りながら住みよいまちづくりに努力するよう要請する。

**Q** 来年度の最重要政策は？  
**A** 定住促進住宅用地貸付事業を考えている

**泊** 平成25年度の施政方針で町長の最重要政策は、安心・安全なまちづくりを基本とし定住促進住宅用地貸付事業、福祉の充実、農業の振興、教育の振興であった。

私たち議会も町民が住みたいまち・住んでよかったまちづくりの目的は一緒である。

議会は、今年度から決算審査の結果を次年度の予算編成や行政執行に活かすために、9月議会中に決算審査を行い、特に評価する意見があった施策や次年度への政策的提案を行った。

そこで、議会の平成24年度決算審査特別委員会報告書を踏まえ、平成26年度の最重要政策は何か尋ねる。

**町長** 平成26年度の重点事項は、通信網の整備としての光ファイバーや防災無線を整備して、地震・津波等に備え、安心できるまちづくりを考えている。

また、定住促進住宅用地貸付事業を考えている。さらに教育の振興では、武道館建設や中学校運動場の整備を考えている。

平成26年度は、国の財政状況から地方交付税は減額の様相、それと一番期待している石油備蓄交付金も平成24年度は2億1000万円、平成25年度は2200万円の減額となっている。

定住促進住宅用地貸付事業は自主財源もふやしながらい、住宅の建設ができて住んでよかった・住んでみたい東串良と、まちづくりについてはふさわしい事業だと考える。

**泊** 平成25年度は、定住促進住宅用地貸付事業、農業基盤整備、小中学校の教材備品、環境整備等の整備が図られている。

本町の将来に禍根を残さないためにも議会の政策的提案を踏まえ、また住民の意見を聞きながら、効率的な財政運営、住みたいまちづくりのために、平成26年度の予算編成に努めるよう要請する。

## Q 子どものインフルエンザ予防接種に助成を A しばらくは検討したい



上園 ミキ 議員

**上園** 児童生徒の健康管理のためインフルエンザ予防接種の際、費用の一部助成を

する考えはないか。そのことで医療費の抑制につながるのではないか。

**町長** 他市町村では助成を

しているところがある。予防接種の一部助成については、いろいろな経費を福祉課で調査し、しばらくは検討したい。

**Q** 公共施設に洋式トイレを増設できないか

**A** 年次的に改修していく

**上園** 公共施設の洋式トイレ増設を望む声がある。トイレの改修はできないか。

**町長** 少なくとも2個ぐら

いずつは改修していく。工事費用が1基あたり50万円程かかるので、年次的に調整を図っていききたい。

**Q** 東くしら会や東串良大使を町アピールのために活用しているか

**A** している

**上園** 関東や関西に在住の本町出身者に、もつと町の特産品の販売促進やアピールの工夫が必要ではないか。また、東串良（ルーピン）大使の活用が必要ではないか。

**町長** 東くしら会には、園

芸振興会等の協力のもとピーマンやキュウリ等を持っていつている。大使には、都会の方々との意見交換やふるさと発展のための雇用創設、また、観光名所等のアピールを期待して任命を考えている。

**上園** 今回の関東・東くしら会に本町在住の大使が出席していない理由は何か。

**町長** 体調が悪いという連絡があった。

**Q** ふるさと納税の対策は調査し検討する

**A** 調査し検討する

**上園** ふるさと応援基金の使途は考えているか。

**町長** 唐仁古墳群に資料館を建設する場合の財源に充てたいと考える。

**上園** ふるさと納税の増額対策は考えているか。

**町長** 調査し検討する。

**Q** 柏原地域活性化への対策は何か

**A** 具体策がない

**上園** 柏原地域の活性化を望む声が多いが、町長はいかなる対策を講じていくのか。

**町長** 思う以上に柏原地区が衰退している。現在のところ具体的な方策がない。



住民ニーズに合わせた助成を

**上園** 柏原が衰退していくのはなぜだと思うか。町長の施策に偏りはあるか。

**町長** 柏原には後継者が住もうとしない。定住化を池之原につくれば、柏原地域の方が移り住んでくる。実際苦慮している。

**上園** 人が来るような施策をするのが町長の務めではないか。

**町長** 柏原の人口増加対策については、地域の方々の話も聞いている。

**Q** 次の人事異動はいつか4月1日付けである

**上園** 3月の退職者が多いが人事異動はいつするのか。また、事務的な支障や町民に迷惑はかけないか。

**町長** 前任者と後任者の事務引き継ぎができるように3月下旬に異動の内示をし、辞令交付は4月1日を計画している。

**上園** 女性職員の管理職への登用はできないか。

**町長** 男女同権と理解されているので考えたい。

**その他の質問**

★グリーン・ツーリズムの進捗状況

**Q** 介護者福祉手当の充実を図れないか

**A** 近隣市町と内容はほとんど変わらない



堂地 富男 議員

**堂地** 昨年4月にスタートした介護保険の24時間、地域巡回型サービスも近隣市町では鹿屋は実施しているが、各自治体では伸び悩んでいる。24時間巡回サービスは、病院などの施設から在宅介護への移行を促すのが狙いであると思う。高齢化の進展で、今後高齢夫婦や単身世帯の増加が見込まれ、在宅介護支援の充実がますます重要になってくると思う。

そこで、本町には施設に入所せず、自宅で介護している人は何人いるのか尋ねる。

**町長** 平成25年11月30日現在、介護保険要介護認定・要支援認定者は509人いる。このうち、特別養護老人ホームと有料老人ホーム入所者が90人、グループホーム入所者が19人の計109人となる。自宅で介護している人は差し引き

400人となる。この400人のうち、何らかのサービスを受けられている人は296人、何も受けられていない人は104人いる。

**堂地** 今後、要介護、要支援を必要とする人はますますふえてくると思う。在宅介護の推進を図ることで介護会計の運営上もよくなり、家族的な正しい姿も生まれてくると思う。東串良独自の施策として、月額8千円の介護者福祉手当の支援が実施されているが、この制度の充実を図れないか尋ねる。

**町長** 近隣市町もほとんど実施しており、月額で3千円から8千円、一番高いところで月額10万円となっている。本町も月額で算定すれば9万6千円となる。ほとんど変わらない実情である。

**Q** 子ども議会を計画できないか

**A** 学校とも協議して検討する



宮原 順 議員

**宮原** 未来を担う子どもたちの町づくりへの夢や考えを発見できる良い機会として、町主催の子ども議会を計画できないか尋ねる。

**町長** 町村によって子ども議会的方式でするところもあるが、本町は「少年の主張」

を夏休みにしている。特に子ども議会への望みが強ければ、教育委員会と町側との意見調整よっての開催となる。

**宮原** 子ども議会は町政や広くは政治への関心へ繋がる。また、中学生は社会科で公民を学ぶが、学習の一環に民主主義や議会の仕組みを取り入れた実践的な場を計画することはできないか尋ねる。

**教育長** 小中学生の少年の主張の発表は、全て郷土愛に基づくもので参加者の感動を呼ぶものばかりであった。子どもたちの町づくりへの夢や考えを聞く機会としての子ども議会の開催は、町当局とも協議し、時期や参加学年等を含め学校とも協議をして検討する。



中学生と議会との意見交換会



**Q** 遊具の設置はできないか  
**A** 設置を考えている

**宮原** 遊具等があれば親子で外に出て外気に触れることによって、子どもたちの五感が養われ活性化すると思う。

そして、親子のコミュニケーションも図れる。町民運動場隣接地の遊具は何年も前に撤去され、また、にぎやかタウンの公園は東屋が建っているだけだ。子どもの遊び場に遊具の設置は考えられないか。

**町長** 乳幼児等を対象とした遊具の設置を考えている。

**Q** 姉妹都市交流は？

**A** 似ている地域を検討したい  
**宮原** 姉妹都市を締結して、教育、文化交流や農村漁村交流に積極的に取り組むことは出来ないか。

**町長** 我が町は備蓄基地がある関係で、全国の備蓄協議会の所在市町村とは災害援助協定を結んでいる。今後、ツーリズム的な交流が出来る場所に行つて話を出して、姉妹都市を結んでいければと考える。大体似ている地域にあるようなところを検討してみたと思う。

**Q** 町技連会の取り組みは

**A** 農家の所得向上のため活動している



久保田 義春 議員

**久保田** 原油が高くなり、農業資材が高騰し農家にとって本当に厳しい状況である。

町技術連絡協議会での所得向上の取り組みを尋ねる。

**町長** 市町村長大会で東京に行つた際、経済産業省に陳情を兼ねて行つた。石油事業等の講演では、農業用資材等への軽減的措置は全然考えていないとのことだった。また、石油等は売り手が強気の状態なので値上げをしていくとの説明を聞いた。県に聞いても、今回の高騰分について措置はされていないとのことである。

**久保田** 町技術連絡協議会の定例会が毎月行われているが、会議の内容はどのようなものか尋ねる。

**経済課長** 我々の活動全てが農家、漁業の方々の所得向上のために動いていると思つて活

動している。町やJAで毎年課題解決のための地域農業の振興方策をつくり、県農政普及課とともに農畜産業に係る全ての項目について指導計画を協議している。主な中身は、担い手づくり、地域営農の仕組みづくり、産地づくりである。

本町には畜産の技術員はいるが、園芸等にはいないので、JAや県の指導員を中心に技術的な指導を行っている。

今後は、いろんな交付金等を活用しながら東申良の中核を担う施設園芸と水稲の複合経営農家、水稲の専業農家、露地野菜の大きな農家、大型機械を導入している酪農や和牛農家への農地の集積、集約を推進し、コストの削減を図つて農家の経営安定につながるように努力していきたいと考えている。

## 議会を傍聴してみませんか！

手続きは簡単です。  
本会議の当日、傍聴人名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。  
議会を傍聴することは、町政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

3月議会は、  
11日からの  
開会予定です。



※ 本会議については、防災無線でお知らせします。

# 町民にインタビュー Vol.2

このコーナーは、町民の意見を幅広く聴取し、行政に反映する目的で企画しました。



前列左から西永美智子さん、清瀧逸子さん  
後列左から久保園ヨシ子さん、田之畑議長

男女が共に築く輝きあるくらしを！  
町勢発展に女性力の積極的な活用を！

**議長** 今日においては、男女共同参画や政府の新成長戦略の一環として、女性の活用が促進されています。

そこで、今回は「東串良町生活研究グループ連絡協議会」の会長清瀧逸子さんと副会長西永美智子さん並びに会計の久保園ヨシ子さんに協議会の活動状況についてお話を伺います。

**清瀧** 「東串良町生活研究グループ連絡協議会」は、町内の5つのグループで編成し会員は合計53人です。グループの内訳は次のとおりです。

- ▽コスモスグループ11人
- ▽ピーマングループ10人
- ▽なでしこグループ9人
- ▽カトレアグループ14人
- ▽ひまわりグループ9人

年間の主な活動内容は、味噌づくり初心者研修会、めんつゆ作り、焼き肉のたれ作り、田舎料理教室、料理研修会などです。そのほかに農業大学研修会や先進地視察研修を行っています。

また、町の農業祭では加工部の皆さんが地元食材を使った料理を提供しています。

**議長** 生活研究グループの組織運営と活動について、課題などがあればお聞かせください。

**清瀧** 年間の事業予算は、38万3千円です。内訳は、会員の会費（一人あたり年間2千円）と町補助金17万1千円です。

私たちは、「男女が共に築く輝きのあるくらし」をス

ローガンに、次の課題の実現に向け努力していきたいと考えています。

- 女性の主体的なライフスタイルの実現
- 住みやすく快適な生活環境づくり
- 地域食材を生かした豊かな食生活の実践
- 食文化と技の伝承
- 地域物産のPR・交流活動の推進
- 男女共同参画社会の実現に向けた学習・実践
- 地域振興の方針決定の場への参画

これらの課題を実現するためには、町民の皆さまのご理解と若年女性の多数の参加が必要で

また、活動内容の充実と各種団体との連携による全町的な女性組織としての育成を図るためには、行政の物心両面にわたる積極的な支援が何より必要であると願っています。

**議長** 役員の方々の組織運営と活動の熱意には大いに共感を覚えます。

今後の活動について、議会に対する要望などありましたらお聞かせください。

**清瀧** 私たち生活研究グループは、先にお話ししたとおり、地産地消をモットーに、みそ・めんつゆ・ドレッシング・焼き肉のタレなどの開発や、田舎料理教室や料理研修等を通じて、若い女性の方々に地元料理の伝承に努めています。また、生活と生産の調和の取れた「ゆとりあるくらし」の実現に向けて日々努力を続けています。

しかしながら、現在、私たちが利用している「東串良町農産加工センター」（旧東串良町中央公民館内に設置）は、建物及び調理備品等の老朽化で衛生的にも悪い状況で大変困っています。できることならば、調理・加工施設の改善を願います。

そこで、町の物産館に調理場を設置して活用させていただければ、町民福祉向上の総合的な観点から最善の方策であると考えます。

**議長** 役員の方々のご意向は良く分かりました。

議会としても調査のうえ最善を尽くしたいと思います。今後とも皆様のご活躍を期待いたします。

# 所管事務調査報告

各委員会が10月～11月に実施した先進地調査や視察の報告です。

【各常任委員会の所管について】

総務民生常任委員会：総務課・企画課・税務課・会計室・選挙管理委員会・監査委員・住民課・福祉課の所管に属する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項

教育産業常任委員会：教育委員会・経済課・建設課及び農業委員会の所管に属する事項



## 山梨県北杜市の

## 環境にやさしい学校づくりを学ぶ

### 教育産業常任委員会

#### 1 調査目的

教育環境の整備充実を図るための方策を調査するため。

#### 2 調査の経過

【調査日】平成25年10月31日（木）

【調査先】山梨県北杜市立長坂小学校

【出席委員5人】

宮原 順 前田 隆

中野 重雄 久保田義春

宮地 利雄

外 総務民生常任委員5人

#### 3 調査の概要

地球温暖化対策が喫緊の課題となっており、環境を考慮した施設整備が求められている。エコスクールは、環境負荷の低減に貢献するだけでなく、児童生徒の環境教育の教材として活用することもでき、さ

らには地域の環境教育の発信拠点としても先導的な役割を果たす点で重要である。

北杜市では、次世代を担う子ども達に環境意識を高めてもらうため、全ての小中学校（小学校11校・中学校9校）及び市立高校1校に太陽光発電設備（総設置容量1000kw）を設置している。25年度は約2000万円の売電収入を見込み、市長がこの売電収入は全て教育予算に使うと明



採光と県産材でゆとりのある造り

言している。

また、太陽集熱暖房設備、ペレットストーブ、風力・太陽光型ハイブリッド電灯などを整備している学校もある。

今回調査した長坂小学校は、

①学習効果（学びやすさ・教えやすさ）

②安心・安全の学校づくり

③地域の誇り

④環境にやさしい学校づくりを、基本方針に新設され平成25年4月に開校した。

特徴は次のとおりである。

#### ■太陽光発電型

学校の屋上に60kwを設置し、校舎玄関ロビーの発電表示モニター装置で発電等の情報を公開している。

#### ■省エネルギー・省資源型

建物に外断熱工法を採用し、外部環境の影響を防止し、空調設備の負荷低減を図っている。環境共生技術として学習教材として活用している。

#### ■木材利用型

内装は地産地消の県産材等で木質化を図り、木や森林の意義や役割、必要性を伝える教材として活用している。

#### ■自然採光の利用

建物に採光窓をバランスよ

く設置し、太陽の明るさを十分に採り込む工夫をしている。

#### ■その他

教室や図書室、コンピュータ教室の配置は柔軟に対応できる施設づくりになっている。

また、地域の防災施設・避難所として、バリアフリー対策・耐震性・防犯・安全性に優れた施設を整備している。

#### 4 意見

エコスクール推進事業は、学校施設を整備するうえで国の補助率が高い。

学びの場において、環境学習の教材を整え子ども達が地球環境を意識し、そのことが地域や広くは社会に浸透することを期待したい。

また、地球温暖化等の影響で猛暑による学習への意欲低下を引き起こさないためにも、教育環境づくりに町は積極的に取り組むべきである。

よって、本委員会は次のことを提言する。

●小・中学校に太陽光発電設備の設置。

●LED照明への付け替え。

●全教室への扇風機の設置。

# 長野県川上村の

## 魅力あるまちづくりを学ぶ

### 総務民生常任委員会

#### 1 調査目的

魅力ある町づくりを進めるため、その方策の調査。

#### 2 調査の経過

##### 【調査日】

平成25年11月1日（金）

##### 【調査先】

長野県川上村役場

##### 【出席委員5人】

上園 ミキ 泊 重巳  
堂地 富男 原田 猛  
田之畑 稔  
外 教育産業常任委員5人

#### 3 調査の概要

川上村は、平均標高1270mで年間平均気温8.5度の寒冷な高地に位置し、高原野菜の栽培に適した自然環境と地の利を生かし、都市部への農作物の供給基地としての地位を確立している。レタスや白菜を作る農家の平均年収は、



標高1270mにある川上村役場

2500万円を超えている。

また、人口4103人の川上村の出生率は1.83と全国平均の1.34どころか、県別トップ沖縄県の1.75すら上回っている。さらに、農業を継ぐ若者も多く、30〜40代が約37%と全国平均の9.4%を大きく上回っている。農業後継者の花嫁のおよそ7割は東京などの大都会から来ている。

#### ■村に変革「川上方式」

川上村の変革をリードしたのが村長の藤原忠彦氏（現全国町村会長）である。企画課長時代、唯一の民営路線バスが赤字続きで廃止が決まっていたものを村営化し、スクールバスや幼稚園送迎バスと併用することで黒字化に成功した。路線バスは運輸省管轄、スクールバスは文部省管轄と監督省庁が異なり前例がなく、なかなか認可が下りなかった。

藤原氏は関係部局に夜討ち朝駆けの説得を行い遂に認可を得た。以後「川上方式」として有名になった。

#### ■できるまでやり続ける姿勢

次に藤原氏が取り組んだのが農業の情報化であり、ケーブルテレビの導入による村独自の気象情報や市況情報の提供である。農水省に補助金を要請したが、「有線テレビはダメだ」という姿勢であった。

しかし、藤原氏の熱意にほだされた役人が、法律改正までして補助金を出した。

その後、藤原氏は村長となり精力的な村づくりを進めた。

#### ■高齢者福祉対策

大浴場、診療室などを備え

た「ヘルシーパークかわかみ」を拠点に、補助金に頼らない、村独自の「生きがいデイサービス」が行われている。

また、24時間の訪問看護体制で、家庭と地域が連携している。川上村では、人生の最後を家と、「在宅死」の割合が4割となっている。

#### ■人材育成事業

①アメリカ・カリフォルニア州のワトソンビル市と姉妹都市提携を結び、冬の農閑期を利用して交流を行い、村民の多くが海外研修やホームステイなどの海外体験をしている。グローバルな感覚を持った村民が増え、レタスの海外市場も台湾や香港など東南アジアへ開拓されつつある。

②農村の文化を大切に、人間的豊かな生活を享受できる村にしようと、村民が運営する「川上村ふる里村塾」を設置。コンサートや演劇鑑賞、文化講演会など本物の芸術文化に触れる機会を設け、心の豊かさを築く活動を目指している。

③「人材育成をためらっていない。将来に禍根を残す」として建設した「川上村文化センター」は、24時間オープンな図書館や150インチの映画

面ハイビジョンシアター、村の自然や歴史を展示する資料館などを備えている。

④村費による6名の講師を採用して、各学校や冬季スポーツ専科指導員と特別支援員として配置している。

#### 4 意見

若年村民を対象にした人材育成事業を基盤とした村づくりは、「郷育の実践」として、風土・風習・風味を基調としたものである。農家のやる気・意欲を高め、食べていける農業を確立するための方策、食べ方を提案しながら消費拡大を図る知恵など町づくりの極意の示唆として興味津々であった。中でも、都会から来た嫁さんへのフォローに留意し、若妻会の結成による交流や福祉・文化・教育の充実を図ることで定住のための生活環境の整備に努めていた。

魅力ある町づくりは、その町の持つ風土や特性を生かして構築されるものである。行政の役割は、人材育成による民意の反映と取組みである。

川上村は、藤原村長の強力なリーダーシップとそれを支える役場職員の誠実な行政姿勢が感じられた。

# 東京都で開催された

## 関東・東くしら会の報告

### 1 調査日

平成25年11月2日（土）

### 2 調査の概要

第9回関東・東くしら会は、関東周辺に在住し活躍されている本町出身者96名が出席して盛大に開催された。

会場は霞ヶ関ビル35階の東海大学校友会館で開催され、眼下に皇居や国会議事堂を眺望する素晴らしい景観の下、中学卒業年度形式のテーブル

で出席者が和やかに落着いた雰囲気、旧友との再会を喜び友好を温めていた。

**調査事項である出席者の主な意見・意向・要望は以下のとおりであった。**

■定住促進事業の推進で池之原地区の若年人口増は大変喜ばしいが、池之原地区への偏りにより、柏原小学校の児童数が減少するなどの問題が生じていると聞く。柏原地区の

過疎高齢化が進んでいるので、町全体のバランスを考慮した施策を考えてほしい。

■出席者が高齢化し、毎回同じメンバーで集まっている。行政も関東・東くしら会と連携して、若年者への出席を促すなど対策を講じて多くの参加者を募ってほしい。

■我々は故郷東串良に愛情と誇りを抱いているので、他の市町村と同じように東串良の情報積極的に発信して、観光などのアピールとともに特産物をもっと宣伝販売してほしい。

**3 調査の結果と意見**  
今後の課題として次の意見

を述べて報告とする。

●故郷東串良への想いを語る関東在住の人々にもっと町の特産物を紹介し、対外的にも販売促進をアピールする工夫が必要である。

●ふるさと納税についての制度説明と納税協力者への恩恵や報告など理解を求める努力が足りないと感じた。

●今後、都市と農村の交流を図る観点から、関東・関西の東くしら会の会員や家族などを地元東串良に呼び寄せる努力が必要である。

●農業・漁業体験などのイベントを企画することで小・中・高校生を対象にしたグリーン・ツーリズムの推進を図る

ことも必要である。

●本町は他の市町村に比べ情報発信力が弱いとの指摘があったので、今後は対外発信の工夫により、都市との教育・文化交流や農山漁村交流に積極的に取り組む必要がある。

●関東・関西における東くしら会の設立と交流の意義を踏まえてルーピン大使の委嘱と活用について検討する必要がある。

●町人会出席者の高齢化が進み、若年層の出席が少ないことに対する対応について、町当局が町民の協力を得ながら情報を提供し積極的に出席参加を促す努力が必要である。



田之畑議長の乾杯で開宴



東串良に縁のある三遊亭楽生氏（右端）



議員の紹介



なつかしい顔ぶれ。若者の参加もほしい

# 輪<sup>わ</sup>和<sup>わ</sup>話<sup>わ</sup>のひろば



このコーナーは、町内のあちろちろの「ひろがり」や「つながり」を伝える目的で企画しました。名付けて『輪和話のひろば』です。

町民の皆さんに登場していただき、もっと議会だよりを身近に感じてほしいと思います。

また、ご一報いただければ取材に伺います。よろしくお願いします。



## 柏原が大好きなみんな『柏原会』にあつまれ!

今回は、平成22年の春に発足した柏原会を紹介します。この柏原会は、「柏原地区に住む方を中心に、世代間を超えた交流を深め、昔のような絆を強くし、柏原地区の活性化を図ろう」との考えで、柏原が大好きなメンバーが集まり始まった、交流を目的とする会です。

毎回25人以上の参加者があり、柏原小の先生方、郵便局



職員の方、高山警察署の方など、バラエティーに富んだメンバーが集まり、色んな話に花が咲きます。ちなみに交流会の参加費は1人千円で、主な会場は柏原消防会館です。

また、柏原会では柏原海岸の清掃活動や松林の除草作業等をボランティアで行っています。

現在、事務局は次の8人が担当し、日程や内容を話し合ってから会を実施しています。

- 児玉醸造の児玉さん
- 吉川菓子店の吉川さん
- 林田木工の林田さん
- 岩重病院の岩重さん
- 永吉造船の永吉さん
- 内村保険の内村さん
- 村山製油社員の田中さん
- 四村惣菜の松尾さん

### 取材を終えて

気軽に参加できる「柏原会」に魅力を感じました。地元を愛し、世代を超えた交流とつながりは強い絆を結び、この考えにうなずきました。

取材者 宮原 順

## 編集後記

### ナイスショット!

今年の七草祝は、天候にも恵まれ、この日を待ち望んでいた皆さんにとっても最高の一日だったと思います。写真は廣田神社にて撮影しました。健やかな成長を心から願います。



新しい年も始まり、早一ヶ月が過ぎました。東串良町においては、毎年恒例の成人式が一月一日に町関係者、来賓、全議員出席のもと盛大に行われました。振袖やスーツに身を包んだ平成5年生まれの新成人が集まり、仲間との再会を喜んだり、記念写真を撮ったりする姿がとても印象的でした。

これからは、一人の社会人として責任と自覚を持って社会に貢献できる人になってほしいです。素晴らしい成人式も終わり、今年も本町にとって災害のない平和な一年であることを願うところです。

これからも町民と一体となりまちづくりに努めます。また今後とも、議会だよりのご愛読をよろしく願います。

### 広報編集委員会

- 編集委員長 原田 猛
- 編集副委員長 上園 ミキ
- 編集委員 泊 重巳
- 宮原 順
- 宮地 利雄
- 久保田 義春